

# 令和7年度 学校評価(自己評価)

令和8年5月

学校法人 本郷学園 もみじ幼稚園

## 1. 教育方針

「幼児教育こそが大樹に育つための“根の教育”であり、自ら伸びようとしているその力を、いつくしみ育てることが幼稚園の役目である」(初代徳川宗敬園長の基本方針)

## 2. 教育目標

- 心身共に健康で、幼稚園生活を楽しむ
- 友達と仲良く遊ぶ
- 自分で考えて行動する
- いろいろなことに興味を持つ
- 思ったことや考えたことなどを表現する

## 3. 具体的な目標(こどもの姿・保育者の指導内容)

### ➤ **先生が大好きになる 幼稚園が大好きになる**

幼児期のこどもにとっては健康な心と体の育成は大前提である。幼稚園はこどもたちにとって家庭を離れた初めての集団であることをふまえ、まずは担任の先生に親しみを感じられるよう丁寧な対応をしていく。入園当初は保護者から離れられずともそれは自然な姿として温かく受け入れる。

幼稚園には地域の子育ての基地、という役目もある。子育ての専門家としての知識と経験を活かし、保護者に対しても大切なお子さんをお預かりしているという思いを忘れず相談には誠意をもって応じる。

### ➤ **好きな遊びを見つけて遊ぶ**

もみじ幼稚園ではまずはこどもが夢中になって遊べることを目指す。

夢中になれる遊びを見つけられると、こどもたちは幼稚園でも安定し、徐々に周りへの関心を広げていく。自分に自信が持て友達と関わってみようとするようになる。

こども同士のやり取りの中では、思いの違いからトラブルになることも多いが、保育者はこういったことを、こども同士が他の存在を知り、相手にも自分と同じような思いがあることを知るきっかけととらえる。それぞれの思いに寄り添い、自分の思っていることを言葉で伝えあえるよう援助していく。

➤ 主体的な取り組みをする

主体性を大切にする。好きな遊びだけでなく、指導計画に基づいた課題としての遊びにおいても、こどもたちが、（おもしろそうだな、やってみよう！）と思えるよう教材や課題、指導方法を工夫する。

年長組になると、運動会、こども会（劇の発表）といった大きな行事もあるが、保育者はこどもたちが（やらされている）と感じるのではなく（やってみたい！）と積極的に取り組めるよう活動の精選や指導を工夫する。

➤ 自然の中でいろいろなこと興味をもつ

地域でも群を抜く大きな木に囲まれた豊かな自然を生かし、こどもたちがいろいろなことに興味を持てるよう保育者も一緒に体を動かして遊びながら自然と関わる遊びや広い園庭での運動遊びに取り組んでいく。

自然物との触れ合いとしては、春と秋の虫探し。ダンゴムシ、コオロギ、セミや蝶を捕る。落ち葉で遊ぶ。お花を色水にして遊ぶ。やミカンやカキ、オシロイバナの種取りをして遊ぶ。などである。また、うさぎや金魚を飼っており、これらにエサをあげることを経験し、生き物への親しみや大事にしようとする気持ちも育てていく。

自然と触れ合い楽しく遊ぶ中で、なぜかな、といった科学の芽も育てていく。

## 4. 令和7年度重点目標に対する自己評価

### ①園児数増加

#### 『園児数増加』につながる改革の立案

- ・午前保育である水曜日にも、預かり保育を導入
- ・長期休暇中の預かり保育の実施
- ・保護者と幼稚園をつなぐ新たなツール『レーザーキッズ』の導入によるICT化の促進

#### 〈 成果と評価 〉

私立幼稚園の園児数の減少は深刻化している。もみじ幼稚園も他ではない。そのことを踏まえ、今年度は預かり保育の拡充に重点を置く、大きな改革を実施した。午前保育である水曜日の午後も預かり保育を導入することと、夏休み・冬休み・春休みも預かり保育を行うことは、教職員の働き方に大きく影響するが、先生方は柔軟に対応し、混乱を招くことなく始動することができた。実際の利用人数も多く、夏休みは定員をオーバーする日もあり、需要を感じている。令和8年度にご入園のご家庭の中には、実際に共働きのご家庭も見られ、園児数を若干増やすことができ、この改革が園児募集にもたらした手ごたえを多少感じている。引き続き、もみじ幼稚園の改革を周知させると共に、ホームページをリニューアルしたことによる宣伝効果も期待し、更なる園児募集に尽力していきたい。

保護者と幼稚園をつなぐアプリ『レーザーキッズ』の導入はとても好評で、保護者と幼稚園の両者にとって合理的なツールとしてなくてはならないものになっている。時代に合わせたICT化をはかることで、今後共働きのご家庭が増えていくことを想定した対応も担っている。

評価 B

## ② 人事変動による新体制の確立

新体制を整えるための立案

- ・主任が事務職を兼ねる
- ・主任を2人体制にし、役割を明確にする

### 〈 成果と評価 〉

小さな職場であるもみじ幼稚園にとって、長年勤められた熊澤先生の定年退職がどう影響するのか懸念されたが、主任が事務職も兼ねるという新体制で迎えた令和7年度は、教職員それぞれが自分の持ち味を発揮した上で、人手不足を補おうとするチームワークが生まれた。チームワークの良さは保育の質にもつながるものなので、引き続き大事にしていきたい。

評価 A

## 5. アンケートによる学校関係者評価の実施と評価

- 実施日：令和8年2月25日～3月10日
- 対象：全学年保護者
- 方法：アンケート用紙配布→事務室前に回収ボックス設置
- 回答率：34名/60名 約56%
- 結果：下記参照

### 最終アンケート集計結果（全34件）

項目 No.	評価項目	5	4	3	2	1
1	「根の教育」などの目標・方針の伝達	31	1	1	1	0
2	目標・方針に沿った教育の実践	26	7	1	0	0
3	本郷学園との隣接・交流への満足度	32	1	1	0	0
4	園庭および自然環境への満足度	32	1	1	0	0
5	園舎および保育室環境への満足度	25	8	1	0	0
6	安全対策、危機管理、配慮	27	3	4	0	0
7	トラブルや怪我の際の丁寧な説明	28	1	4	1	0
8	家庭との日常的な連携	29	4	1	0	0
9	動植物との関わり	29	5	0	0	0
10	食に対する関心の育成	32	2	0	0	0
11	課内活動(体力作り・英語)への満足度	32	1	1	0	0
12	子育て支援の柔軟な対応	32	1	1	0	0

13	幼稚園行事への満足度	34	0	0	0	0
14	保護者同士の関わりの場の提供	32	2	0	0	0
15	PTA 活動への満足度	18	13	3	0	0
16	教員の熱心さと子供への理解	30	4	0	0	0
17	教員の態度や言動	29	4	0	1	0
18	園内の清掃と整理整頓	31	2	1	0	0
19	個人情報の取り扱いへの注意	29	3	1	0	1
20	子供が幼稚園を楽しんでいるか	32	2	0	0	0
21	幼児教育の場としての適切さ	32	1	1	0	0

.....

## 集計総括

- 「行事満足度」の不動の評価: 全 34 名の保護者が幼稚園行事に大変満足しているという驚異的な結果となりました。
- 概ね極めて高い信頼: 子供が幼稚園を楽しんでいるか(項目 20)や、幼児教育の場としての適切さ(項目 21)についても、34 名中 32 名が最高評価の「5」を付けています。
- 新たな指摘点: 今回追加された回答の一つ(回答 33)では、「園舎・保育室環境(項目 5)」および「園内の清掃(項目 18)」に「3」の評価が付いています。これは会議でも議論された施設の老朽化や衛生面(トイレ周辺など)への配慮を求める声と一致しており、改善の優先度を確認する材料となります。
- PTA 活動の現状: 項目 15 については「5」と「4」に評価が分かれており、不満はないものの改善の余地がある、というこれまでの傾向が改めて浮き彫りになりました。

## 自由記述に関する特記事項

### ◆ 肯定的・感謝の声（満足度が高い内容）

多くの保護者が、子供が楽しく通っていることや、教員の質の高さに感謝を述べています。

- **子供の意欲と成長:**「毎日楽しく通っている」「幼稚園に行きたくないと言う日が1日もない」「自分から荷物の準備をするなど、自立心が育った」などの声が多く見られます。
- **教員の姿勢と理解:**「先生方が子供一人ひとりの名前や性格を把握し、熱心に関わってくれている」「トラブルの際も成長の記録を残し、丁寧に対応してくれる」と高く評価されています。
- **環境とサービス:**「広い園庭で伸び伸び遊べる環境が素晴らしい」「預かり保育(ゆかり)が働く親にとって非常にありがたい」「子食育(ランチ)を子供が喜んでいる」といった具体的サービスへの感謝があります。
- **園への信頼:**「この幼稚園に入れて大正解だった」「もみじらしさを失わず、いつまでも愛される園であってほしい」という強い支持の声があります。

### ◆ 建設的な提案・要望（より良くするためのアイデア）

利便性の向上や、教育内容のさらなる充実を求める前向きな提案です。

- **ICT・デジタル化の推進:** アンケートの Google フォーム化、園独自のアプリ(レーザーキッズ等)での日常的な様子(写真や活動報告)のより頻繁な更新が求められています。
- **広報・ブランディング:** 本郷学園との連携や「附属幼稚園」としての魅力を、ポスター、HP、SNS(インスタグラム)等でもっとアピールすべきとの提案があります。
- **PTA・係活動の負担軽減:** 係の仕事(手作り作業等)が負担に感じる場合があり、働く保護者が増える中で「係を考える会」の設置など、持続可能な仕組みへの見直し提案されています。
- **活動の多様化:** 課内活動のバリエーション増加、動植物(飼育・栽培)とのより深い関わりの機会創出などが挙げられています。
- **運営上の配慮:** 遠足の集合時間を通勤ラッシュからずらす工夫や、準備物の早めの連絡などが求められています。

### ◆ 懸念・改善を求める声（安全・衛生・接遇面）

一部の保護者から、具体的なリスクや改善が必要な点として指摘されています。

- **安全・防犯対策:**
  - 園庭のトンネル上の木枠(ネット)の落下懸念。
  - 「ピンクの門」の施錠やセキュリティ(子供が自分で開けられる、外部の人が入りやすい等)への不安。
- **衛生面:** トイレと保育室が隣接しているため、スリッパの履き替えの徹底や、床の衛生管理(マットの設置等)への要望があります。
- **コミュニケーション:** 朝の登園時、先生が保護者との会話を優先し、子供の挨拶への返答を待つことがあり、子供が寂しい思いをしているという指摘があります。
- **園の将来への不安:** 少子化による園児減少を懸念し、親同士が人数を気にしている状態が悲しい、という切実な声も寄せられています。

## 6. 対面による学校関係者評価の実施と評価

- 実施日時：令和8年3月10日 9時30分～10時30分
- 場 所：もみじ幼稚園会議室
- 出席者： 染井町会前会長 中山さん・父母の会代表8名・本郷学園理事長  
もみじ幼稚園園長 計11名

令和7年度末に行ったアンケート結果に基づき、父母の会の代表の方々、本郷学園理事長、もみじ幼稚園園長の計11名で、学校関係者評価を行なった。

### ◎重点課題と改善に向けたアクションプラン

評価会議での議論を経て、以下の項目について具体的な改善を決定しました。

#### ① 怪我・トラブル時の連絡基準の明文化（項目7関連）

- **現状:** 一部の保護者から、伝達のタイミングや判断基準のばらつきについて指摘(「3」評価4件、「2」評価1件)がありました。
- **改善策:** \*\*「首から上の怪我は即連絡」\*\*という明確な基準を文書化し、全家庭へ周知します。また、本郷学園の保健室との連携体制を明示し、専門的な判断支援を行っていることを周知して安心感を高めます。

#### ② 父母の会（旧PTA）の運営改革（項目15関連）

- **現状:** 「PTAが大変」という外部の噂と実態の乖離や、活動の負担感に対する心理的ハードルが課題となっていました。
- **改善策:**
  - 呼称を実態に即した\*\*「父母の会」に統一\*\*します。
  - 「係を考える会(仮)」を設置し、働く保護者の増加に合わせ、手作り作業の既製品許可や活動の柔軟化を検討します。
  - 活動内容(年間スケジュールや役割)を可視化した資料を再配布し、周知を徹底します。

#### ③ セキュリティと施設管理の強化（項目5・6関連）

- **現状:** 「ピンクの門」の守衛不在時のセキュリティや、園庭設備の経年劣化(トンネルの木枠等)への懸念が寄せられました。
- **改善策:**
  - 「ピンクの門」の施錠運用とインターホン案内の改善、暗証番号通知手順の標準化を行います。
  - お迎えメンバー登録の徹底を再度呼びかけ、安全管理の精度を高めます。
  - 園庭遊具の安全点検を強化し、必要に応じた修繕・緑化(ビオトープ等)を検討します。

#### ④ 職員の接遇品質の標準化（項目 17 関連）

- **現状:** 教員の態度や登園時の挨拶において、個別のコミュニケーションの質にばらつきがあるとの指摘がありました。
- **改善策:** 距離感や言葉遣いに関する最低限の統一基準(NG 例を含む)や、\*\*「門での挨拶対応チェックリスト」\*\*を策定し、組織としての接遇向上を図ります。

#### ⑤ ICT 活用と利便性の向上

- **現状:** アンケートや日々の様子共有について、デジタル化を求める声がありました。
- **改善策:** 次年度アンケートの Google フォーム化や、連絡アプリ「レーザーキッズ」の適正な更新頻度・運用ルールの策定を推進します。

※今回の会議では、アンケートで「怪我・問題時の説明」への評価が一部低かった(項目 7 で「3」が 4 件)ことを深刻に受け止め、以下の内容を文書化し、全家庭へ周知することが決定されました。

#### 「怪我の連絡基準」ドラフトの主要ポイント

1. **即時連絡の基準(部位)**
  - **首から上の怪我**(頭部・顔面など)については、保育中に**即連絡**を行う。
  - お迎え依頼の要否や、その後の経過観察の判断を速やかに行う。
2. **判断基準の細分化(ドラフトに盛り込まれる項目)** 職員間での判断のばらつきをなくすため、以下の 4 点を明確に定義します。
  - **部位:** どこを怪我したか。
  - **症状:** 打撲、擦り傷、出血の有無など。
  - **処置:** 「冷やして経過を見る程度」なのか、医療機関や保健室との連携が必要なレベルか。
  - **連絡タイミング:** 即時連絡か、お迎え時の報告でよいか。
3. **専門機関との連携体制**
  - **本郷学園の保健室**と連携し、専門的な判断支援を受ける体制を整え、その流れを保護者へ明示して安心材料とします。
4. **保護者への協力依頼と個別対応**
  - **折り返し連絡のお願い:** 園からの電話があった際、当日の活動判断(プール参加の可否など)に支障が出ないように、早期の折り返し協力を依頼します。
  - **個別希望の扱い:** 保護者によって「連絡してほしい基準」が異なる場合があるため、その扱いについても基準に盛り込みます。

評価            **B**

#### 7. 今後取り組むべき課題

##### 自己評価及び他社評価を実際の保育に生かす

学校評価をホームページに開示するのみに留まらず、職員間でも結果を共有し、今のもみじ幼稚園の課題を共通理解した上で、日々の保育に勤しむ。また、アンケートの質問事項ではなく自由記載された具体的な要望やご意見に対しては、可能な限り解決に臨む。

以 上